

社会福祉法人 春風会

令和 3 年 5 月 5 日

はるかせ やまゆり荘

第 83 号

〒377-0433 群馬県吾妻郡中之条町折田2515 TEL. 0279-75-6517

令和3年度 社会福祉法人春風会運営にあたって

やまゆり荘がスタートし 23 年目を迎えました。

昨令和2年度は新型コロナウイルス感染症に対する、対応と対策に追われた一年間であった。特に特別養護老人ホームを始めとする、老人施設では、集団感染により、多数の利用者の感染と重度化が懸念され、予防にも厳しい対応が要請されている。

現在も群馬県の警戒度が4に上がり、特養では面会謝絶等の対策が継続している。今年度中もしっかり、対応していかなければならないと考えています。

人員不足に対する対応は今年度も重点として扱っていかなければならない事項です。外国人職員も4名となり、他に2名が入国準備中です。職員教育と共に、人員獲得にも力を入れていかなばなりません。

一方、サテライト型特養の人員配置基準が緩和されて来ました。本体施設と一体的に運営されれば、生活相談員、栄養士、介護支援専門員等の管理的人員を配置しなくてもよいという方向となりました。

やまゆり荘とすいせんの里の一体的運営を図っていくこととしたいと考えています。

コロナウイルス感染症に対する対応ばかり考えていると、心のゆとりや笑顔を忘れがちになります。そこで令和3年度の運営方針を次の通り定めます。

社会福祉法人 春風会
理事長 南波 和憲

▶令和3年度 運営方針◀

コロナ禍の中、予防に徹し『笑顔の介護』を実践しよう。



施設長就任の挨拶

この度、4月1日より特別養護老人ホームやまゆり荘の施設長に就任しました倉田でございます。

昨年度までは、すいせんの里は小規模ながら単独型と同様の職員配置で運営して参りましたが、本年度より、やまゆり荘のサテライト型施設として一元的に運営することとなりました。約4年間離れていた古巣に帰り、笑顔を返してくれる入所者に励まされて日々奮闘中ですが、両施設の職員が連携を取りより良い介護が行えるように努めて参ります。

宮崎施設長との2人体制で各種福祉サービスを円滑に運営していきますので、更なるご支援をお願い申し上げます。

施設長 倉田 由香

24時間テレビ

～福祉車輛の寄贈～

2020年「日本テレビ」福祉車輛の寄贈先に選定していただき、令和3年1月26日にスロープ付き車輛が届きました。利用者の送迎や入所者の通院など毎日活用させていただいております。またご家族への車輛貸し出しも予定しており大変喜ばれております。全国の皆様から寄せられました浄財を元に購入されています。

末永く大切に活用させていただきます。



今年はコロナ感染症の影響が、ひな祭りにも出てしまいました。

今まで食堂に七段飾りを飾っていましたが、今年はお雛様を飾るスペースがなくなっていました。

皆様の食事スペースを密にならないように、4人掛を2人で使用することになったためテーブルが倍になりました。お雛様飾りを楽しみにしている方もいらっしゃるの、ささやかながら、親王飾りのみで、ニッコリ写真撮影を行い、おひな祭りを行いました。お昼ごはんは、定番のちらし寿司・蛤のお吸い物・桜餅・草餅で季節を感じて頂けたようです。

来年は七段飾りで全てのお人形様をかざってあげたいです。

ケアハウス 相談員 青木すみ子



3月16日に第4回目となるドリンクの日を行いました。ご利用者様に楽しみながら水分摂取と食事ができる機会につながるよう、ソフトドリンクをはじめアルコールやおやつを用意させて頂きました。特に人気なものは前回に引き続き甘酒とポテトチップスでした。



今回も普段とは違ったメニューにご利用者様も喜んで頂いた様子でした。

ご利用者様に楽しみながら水分摂取と食事ができる機会につながるよう、ソフトドリ

ンクをはじめアルコールやおやつを用意させて頂きました。特に人気なものは前回に引き続き甘酒とポテトチップスでした。

今回も普段とは違ったメニューにご利用者様も喜んで頂いた様子でした。

また、普段ご利用者様と近くでお話をする機会があまりないのでドリンクの日を通して会話することができ良い機会となりました。

水分補給は普段生活に欠かせない事だからこそ、これからもご利用者様が楽しみながら飲んで頂けるよう工夫していきたいと思います。

食事係 鈴木ひかり



3月26日、お風呂の日が行われました。入居者様の中には温泉を楽しみにしている方が多く、「色がいつもと違うね〜」「体が温まったよ!」と、とても喜ばれていました。



変化の少ない施設の生活で四万の温泉に浸かるという、少し贅沢な時間を提供させて頂く事が出来ました。

心待ちにしている入居者様の為にも、今後も継続させて頂けたらと思います。

当日、早朝から準備して下さった春和会の林様・蟻川様、大変ありがとうございました。

めぐみグループ 林 きよ美



4月になり暖かくなったので施設の近辺までお花見に行ってきました。

ご利用者様と一緒に春のお散歩を楽しみました。桜や花桃や水仙、タンポポ、つくしなど…

桜や花桃を見上げる方、花に触っている方、香りは…あまりしないみたいですね。間近で見ると迫力のある美しさでした。

穏やかな春の日差しの中、外の空気が気持ちよく、笑顔で楽しまれていました。



のぞみグループ 本多 信子



デイサービスでは、端午の節句に向けて鯉のぼり制作を行いました。職員が一つ一つ折り紙で折って準備した、大小の鯉のぼりと菖蒲の花、かぶと等のパーツを使い、利用者様が色紙に貼りつけて仕上げました。

利用者様の中には、色や柄が違うパーツを見比べて「どれにしよう?」と真剣に選ぶ方、バタバタする

ボンドに苦戦しながらも黙々と作業を進める方、葉っぱを折り曲げて工夫する方など…皆さん、一生懸命に取り組んで下さいました。

それぞれの個性の詰まった作品が並び、デイサービスホールに小さな作品展が出来上がりました。皆さんから「すごいねー!!」との声が聞かれ、今までの可愛らしい作品とはまた違った華やかながらも上品な雰囲気になりました。

これからも季節を感じながら、皆さんとまた新しい作品作りが出来る事を楽しみにしております。

デイサービス 介護係 篠原紗緒里





コロナ禍ではありますが、4月10日（土）に2年ぶりの観桜祭を開催しました。

今回は入居者様と施設職員のみでバーベキューを実施しました。

春らしい晴天の中、桜の花や木々を眺めながら焼き肉・焼き魚・焼きそば・スープ・サラダ・フルーツ等のメニューを用意し、好きな物を召し上がって頂きました。

ご利用者様に召し上がって頂きながら、職員も一緒に食事を摂らせて頂きました。

普段、入居者様と職員と一緒に食事を摂る事が無い為コミュニケーションを取りつつ、有意義な時間を過ごす事が出来ました。

今回は感染症予防の為ご家族様に参加していただく事が出来ませんでした。



ご家族様が来荘されない事に対し、入居者様は残念な様子もありましたが、職員と共に楽しい時間を過ごしていただく事が出来たように思います。

新型コロナウイルスが猛威を振るい4都府県には緊急事態宣言も発令され、群馬県内でも感染者が増加傾向にあります。まだまだ落ち着かない世の中ですが、少しでも早く以前の様な生活を送る事が出来る様に……。そして来年の春はご家族の皆様にも参加していただき観桜祭が行える様願うばかりです。

すいせんの里 介護リーダー 飯野 和憲



総務
島村 茉実

新人職員紹介

やまゆり荘に新しい仲間が増えました。

令和3年4月1日より事務所へ島村茉実さん。特養職員としてウネル・ボルトさんが加わりました。皆様、宜しくお願い致します。



特養職員
ウネル・ボルト

【お詫びと訂正】

第82号に104歳のお誕生日のお祝い掲載覧に、山田つる様の名前が漏れていましたので、お詫びと訂正をさせていただきます。

編集 後記

コロナ禍で外出自粛をずっと続けています。時々、スマホに「今週のハイライト、2年前…〇月〇日」と通知が来るので確認すると、ネモフィラが一面に広がっている風景の映像、卒園式、入学式の映像、子どもたちの変顔映像等などが流れてくるのを、ああ、あの時はそうだったと眺めています。

コロナ前の日常に戻りたいと思いますが、もう後戻りはできません。恨み節を言ったところで何も変わらず。前に進むしかありません。自分の気持ちを切り替えて、日常の中に楽しみを見つけて行きたいと思います。

特養 生活相談員 加部 愛